

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2020年 7月 27日

（宛先）

滋賀県知事



提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県高島市マキノ町中庄464番地

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

株式会社 平安製作所

代表取締役社長 前田 昭宏

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 ~~（第20条第3項・第20条第4項・第22条第1項・第22条第2項において準用する同条例第20条第4項）~~ の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）	株式会社 平安製作所 代表取締役社長 前田 昭宏
事業者の住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県高島市マキノ町中庄464番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社 平安製作所					
事業所の所在地	滋賀県高島市マキノ町中庄464番地					
主たる事業	細分類番号	3	1	1	3	自動車部品 附属品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計 画 期 間	2020 年度 ~	2022 年度
---------	-----------	---------

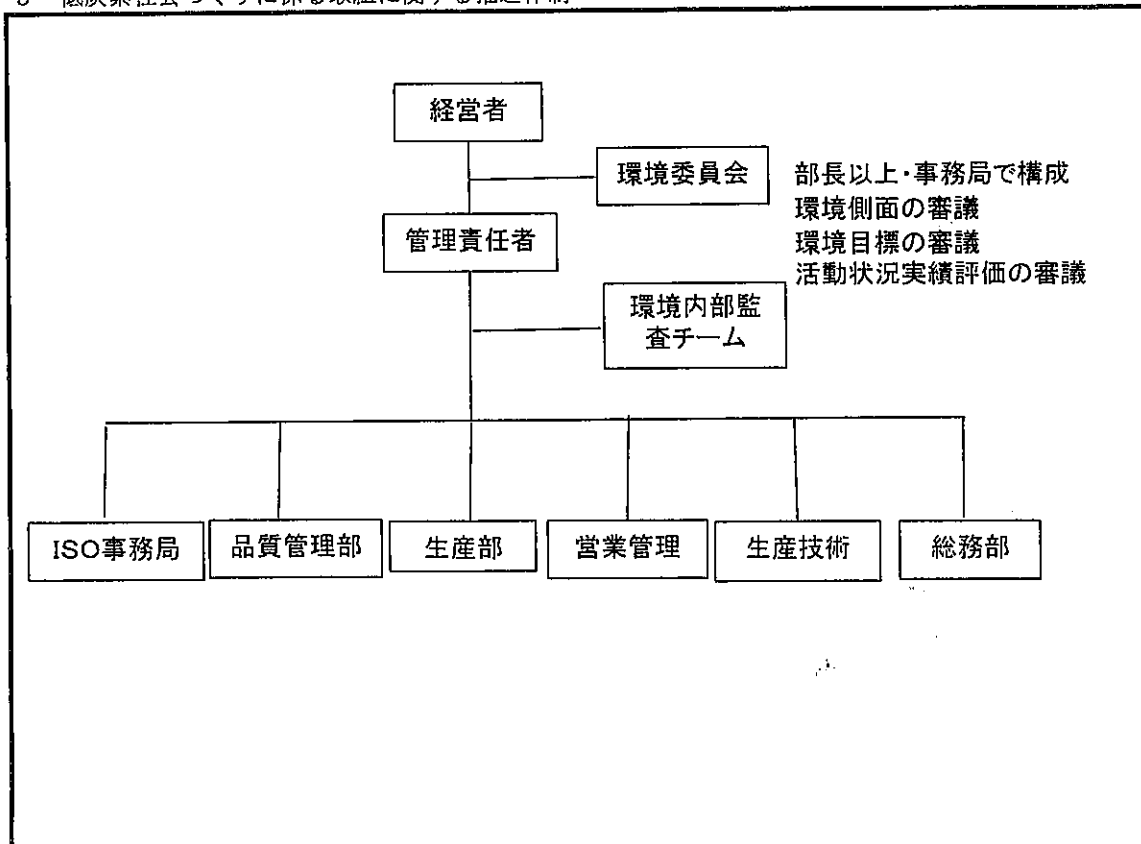
2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

地球の環境保全が人類共通の重要課題であることを認識し、企業活動のすべての面で環境保全に努めます。

1. 環境マネジメントシステムを効果的に運用して、継続的に改善を行い環境負荷軽減・汚染防止並びに地域とのコミュニケーションを大切にして環境保全に努めます。
2. 環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 環境保全の為、次の事項を優先して取り組みます。そのための目標を明確に設定して推進します。またその目標を見直しします。
 - ①工場排水の水質維持・水質汚濁の防止
 - ②工場騒音の軽減
 - ③省資源・省エネルギーの推進
 - ④廃棄物の縮減・リサイクルの確実化
4. この方針は全従業員に周知徹底します。また、要求があったときは、社外へも公開します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- エアコンプレッサーの電力量削減について、工場圧縮空気漏れの防止活動を実施
- 工場間エア配管をループし圧力の均一化を実施 夜間停止している工場へは、閉止する
- 工場内の照明を昼間休憩時間には消灯を実施
- 工場内の水銀灯の廃止し LEDランプに切り替え
- 蛍光灯を廃止しLEDランプに切り替え 故障時順次実施
- 生産設備の投光器、水銀灯をLEDライトに切り替え
- 事務所の空調設備を室温条件により使用制限 冷房時 室温30℃以上時28度以上の設定
暖房時 室温14℃以下時20度以下の設定
- 蒸気ボイラー供給水温度の廃熱利用により予備昇温システムを導入
- 生産性の高い設備の導入(新工場)し 電気消費量の高い設備を停止
- 電力節減として従業員の乗用エレベータの使用制限 必要時のみ運転
- 貨物用昇降設備の運転台数を2台⇒1台を停止

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	冷房時の使用開始室温の温度設定をルール化し運用を行う	2020年度より
2	運用対策	工場内圧縮空気の漏れロス防止活動を全員で実施「気付けば、則直す」	2020年度より
3	運用対策	工場圧縮空気の均圧化によるロスの低減	2020年度より
4	運用対策	工場稼働停止時 ループ配管バルブを閉止 ロスをなくす	2020年度より
5	運用対策	電力使用状況に適した 契約電力の見直し	2020年度より
6	設備導入対策	設備導入、更新時を省エネ効果の高い設備を導入	2020年度より
7	運用対策	燃料消費削減の為、設備立ち上げ時間の短縮、	2020年度より
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

(1)の取り組みにより、平成23年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。

原単位 温室効果ガス排出量 / 総稼働時間 で毎年5%削減

原単位の考え方

温室効果ガス排出量は、製品の生産量に大きく影響を受ける為、生産に係る工数を原単位の指標(分母)として設定しました。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

自動車向けエンジン・トランスミッション部品の軽量化による低炭素社会づくりへの貢献
従来部品を見直し 板金プレス化による軽量化部品をメーカーに提案、生産をおこなっています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標： 軽量化製品の生産を通じて従来品の50%の二酸化炭素排出削減に貢献する。

考え方： 従来部品の生産に係る電力、燃料使用量と板金プレス化による部品生産に係る電力、燃料を比較し導入された時の削減が貢献できる。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	運用対策	生産効率の向上に向けた改善取組を実施 総合効率10%向上	2020年度～ 2022年度
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			